

# DOYOU HYOGO



## ② 経営労働委員会セミナー

### 中小企業をめぐる情勢

～欧州債務危機、米国・アジアの動向、需要不足不況～

企業訪問 .....	8
(株)浜谷金属工業所	
第44回中同協定時総会in岐阜 .....	10
人材育成委員会 .....	12
理事会議事録・新会員のご紹介 .....	14
青年部 .....	16
青年部7月例会	

支部のページ .....	17
西神戸支部 / 兵庫支部 / 東神戸支部 / 神戸中央支部 / 中神戸支部 / 阪神支部 / 東播支部	
はりまセンターニュース .....	23
明日につなぐ経営への想い ～あなたは、会社をどうしたいの～	
同友会とは・同友会の3つの目的 .....	26
わが社の経営理念・WEB情報局 .....	29
ワタキ自動車(株) タツケンホーム(株)龍野実業建築家	

# 「創業100年を目指す老舗企業の底力」

～自動車標板から、店舗サイン・看板、彫刻加工まで。  
「素早い対応で一つから」をモットーに～

## 株式会社浜谷金属工業所

今月の企業訪問は東神戸支部の株式会社浜谷金属工業所です。神戸市東灘区にある事務所・工場を訪問し、濱谷社長にお話しをお伺いしました。

### 会社概要

会社名：株式会社浜谷金属工業所  
 会員名：濱谷 忠樹（代表取締役）  
 所在地：神戸市東灘区深江北町3-5-18  
 創業：1926年  
 設立：1936年1月  
 事業内容：プレス加工業、看板・標記物製作  
 従業員数：11名  
 ホームページ：<http://www.hamatanikinzoku.co.jp>  
 所属支部：東神戸支部



### ○事業内容及び企業の沿革

登録・車輛自動車番号標の製造つまり、自動車ナンバープレートを作る会社です。

創業86年<昭和元年>という老舗で、祖父にあたる濱谷賢次氏が神戸市東灘区にて家庭用金物製作を始められ、<昭和11年>に合名会社浜谷金属工業所を設立されました。

設立当時、軍需品の製作に従事され終戦後より現在のナンバープレート製作を始め、早くから専業となり高い技術と厳しい品質



ご当地原付プレート



自動車臨時運行許可番号標



サンプルで国交省のマークのナンバープレートやオリジナルシール

管理のもと、今日の歴史を刻み続けられています。現在、47歳の濱谷社長は大学を卒業後、ブリジストンタイヤ兵庫販売株式会社に勤められ、25歳で浜谷金属工業所に戻ってこられ、35歳<平成13年>代表取締役就任し「合名会社」より「株式会社」への組織変更をされました。

### ○業界・会社の状況

とにかく、あまり知られてない業界ですが、誰もが知っているという商品を製造しており、目立たずステルスのように、そして確実に収益を上げ

ています。また、他の参入を許さずそのための品質管理やコスト管理、納期を守るためにたいへんな設備投資も行っており、予備の製造ラインまで設置しておられます。日本中のナンバープレートを、全国30社で製造するという責任、守り続ける工夫は大きなプレッシャーであり、権益を守るための使命とも受け取りました。

そんな浜谷金属工業所も阪神大震災では、事務所は全壊し工場も大打撃を受け、2～3ヶ月の休業となりました。

熟練の社員さんを中心に皆さん明るくさわやかで、カットシートによるウエルカムボード成らぬ歓迎シートで迎えてくれました。

さらに感激は、一人ひとりにオリジナルストラップ<ネーム入り>を作ってくださいました。

これこそが、浜谷金属さんの第二創業で濱谷社長が、就任当時より取組まれているフルカラー熱



レーザー彫刻、キーホルダー、名札等



社員の皆さんと



カッティングプロッターによる塩ビ粘着シートのカッティング（自動車・ウィンドマーキング等に使用）



ナンバープレートができるには様々な工程があります



大型インクジェットプリントシステム

転写プリントシステムによる標記技術による市場開拓です。あらゆる物に彫刻（標記）するための機器、エンドミルドリル・レーザー彫刻機、色々なものに映し出すことが可能な熱転写プリントシステム・大型看板にも対応可能な大型インクジェットプリンターが導入されており、工場内は昭和のプレス機から最新鋭のプリンターと老舗企業の生き抜く力を感じました。



一人ひとりにオリジナルストラップを作っていただきました

歩み続ける老舗企業は、100年企業を目前に新天地への移転構想、事業継承と更なる発展をめざして、刻々とその歩みを続けておられます。

### 編集後記（取材陣の感想）

三代目となる濱谷社長は、温厚な表情の内側に厳しさをもち合わせている様でした。聞くと幼い頃より師範代の祖父から剣道を習い、高校生まで剣道を続けていたとのこと。あたりまえの物をあたりまえに作っていくことももちろん大事ですが、「興味のあることに対してはどんどん追求していき、モノ作りの喜びを追求していきたい」という思いで、積極的に活動範囲を広げることで新しい事業展開へ意欲を持って取組んでおられます。